



尾元 武 議員

「若者定住住宅調査事業」  
結果報告と今後について

**問** 本事業は移住者を含め定住者の土地確保のため、その適地を調査するもの。進捗状況を踏まえ調査結果の報告及び今後の予定をお尋ねする。

**答** まだ最終候補地の選定に至っていないが近隣市町に通勤可能な所を念頭にその候補地域として三浦・小松・小松開作・屋代の四地区にエリア分けし選定しているところである。

比較検討の中、明新小学校付近を適地とする評価が高い状況。若者のニーズに応え魅力ある制度設計を行い、安価で納得頂ける住宅用地を提供することにより、子育て世代を支援し応援する制度として定住に結び付

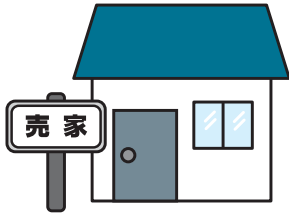
くものしたい。

「空き家対策」について

**問** 適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観等の地域住民の環境に深刻な影響を及ぼしている事に鑑み、「空家等対策の推進に関する特別措置法」が本年5月26日完全施行されたところ。トップクラスの空き家率にもかかわらず「空き家バンク」への登録も今一歩進んでいない。

この度の特別措置法の対象とならないためにも、前の段階でより具体的な施策を考えるべきと思うが如何か。

**答** 自治会を通じて空き家バンク登録をされた場合は、自治会へ報償金を支払う空き家活用事業を開始し、加えて本議会で10年の長期に渡り、町が借り受けた後、修繕を施し定住者に貸し付けを行う「空き家有効活用事業」を補正予算に計上している。



この事業は、単なる空き家の活用事業ではなく、この度の空家対策特別措置法で言うところの「特定空き家」への移行を防止することも念頭に入れ、町内の住み替えのニーズにも対応できるものとしている。

いくつもの事業を複合的に実施することで少しでも空き家の活用が定住促進につながるよう取り組みたい。

観光地の復活

「瀬戸公園」の  
計画的整備を

**問** 大島大橋を眼下に瀬戸公園は風光明媚な本町の玄関口の観光地として永く町民に親しまれてきた名所である。

毎年5月に行われる瀬戸祭りは小松・三浦双方の地区より老若男女が集う伝統行事で今も有志により継承されている。

しかし、会場は荒廃し老木化した樹木の整備は業者に頼らざるを得ないのが現状。観光地の復活を願い計

画的整備を希求するところ。理解ある対応を求める。

**答** 今年度、大島中央ライオンズクラブよりボランティアで桜の木の新植の提案があったことから、公園の老木等を伐採するための予算を本定例会に提出したところ。樹木の整備はボランティアでは困難であることは認識しており、今後、計画的に老木の伐採及び桜木等の植樹について検討して参りたい。



瀬戸公園から大島大橋を望む